

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成 24 年 10 月 25 日 (2012.10.25)

【公開番号】特開 2011-91482 (P2011-91482A)

【公開日】平成 23 年 5 月 6 日 (2011.5.6)

【年通号数】公開・登録公報 2011-018

【出願番号】特願 2009-241238 (P2009-241238)

【国際特許分類】

H 0 4 N 13/02 (2006.01)

H 0 4 N 5/225 (2006.01)

H 0 4 N 5/232 (2006.01)

G 0 3 B 35/08 (2006.01)

G 0 3 B 17/18 (2006.01)

【 F I 】

H 0 4 N 13/02

H 0 4 N 5/225 B

H 0 4 N 5/232 A

H 0 4 N 5/225 Z

G 0 3 B 35/08

G 0 3 B 17/18 Z

【手続補正書】

【提出日】平成 24 年 9 月 7 日 (2012.9.7)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 4 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 4 8 】

電源 1 2 3 は、撮像装置に対する電力供給部であり、例えばバッテリーが装着される。

センサ 1 2 4 は E V F 1 2 2 を覗き込むユーザの目あるいは顔の位置を判別してユーザの利き目が左目であるか右目であるかを判別する処理を行うセンサである。制御部 1 1 7 は、センサ 1 2 4 からの検出情報を入力して E V F 1 2 2 を覗き込む目を判定し、その目を利き目であると判定する。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 1 1 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 1 1 5 】

次に、撮影処理に際して実行される表示部（モニタ）1 2 1 に対する画像表示制御処理のシーケンスについて、図 1 6 に示すフローチャートを参照して説明する。ユーザがシャッターの半押しを行うと、自動焦点合わせ（A F）機能が動作して合焦処理を開始する。図 1 6 に示すフローチャートは、この合焦処理開始後に行われる表示制御処理シーケンスを説明するフローチャートである。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 1 3 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 1 3 5 】

ステップ S 5 2 1 の判定が N o、すなわち、E V F 表示要求がない場合はステップ S 5 2 2 に進み、E V F 1 2 2 に対する表示処理は実行することなく表示部（モニタ）1 2 1 に対する表示処理を継続する。

図 1 8 のステップ S 5 2 2 の下部には、ステップ S 5 2 2 において表示部（モニタ）に表示する（a）立体表示画像の例を示している。